

第24回「親林の集い（しんりんのつどい）」を開催しました。

令和元年11月20日

令和元年10月26日に、森林総合研究所林木育種センターの一般公開である「第24回親林の集い」を開催しました。本イベントは、林木育種センターの研究成果等を紹介するとともに、森林・木材に対する理解を深める機会を通じて、地域との交流を図ることを目的として毎年開催しています。

前日の豪雨で開催が心配されましたが、当日は爽やかな秋晴れとなり、約1,100名と多くの方にご来場いただきました。

当センターでは、毎年子供たちに人気の森の迷路やウッドクラフト、好評をいただいている近隣の保育園、こども園、中学校の楽器演奏のほか、今年度は新たに「ドローンで森を見てみよう」を行いました。

「ドローンで森を見てみよう」は、最近、森林の調査・研究の現場で活発に利用されるようになったドローンを使って、実際に行われている調査の模擬実演を行い、撮影した森の様子をモニターで見ながら、研究者が説明をするという企画です。見学者の方からは、「どうやって木の高さを測るの?」「どのくらいの高さまで飛ばして森を撮影するの?」などといった質問が聞かれました。また子供たちは、普段はあまり見ることがないドローンに興味津々の様子でした。

また今年度は、9月29日に天皇皇后両陛下が当センターをご視察されたことから、興味を持たれてご来場された方も見受けられました。天皇皇后両陛下がご視察されたエリートツリーや遺伝資源保存棟を見学できる「研究施設探索ツアー」には例年より多くの参加がありました。

今後も本イベントを通じて、森や木と触れ合ったり、最新の森林研究を見て学んでいただき、子供から大人まで楽しめるイベントを作っていきたいと考えております。

当日の様子



「ドローンで森を見てみよう」の様子



「天皇皇后両陛下ご視察写真展」



イベント当日の様子

(企画部 育種企画課)